

●地域振興環境委員会での安藤としきの質問

県営空港の航空機事故対策強化には  
空港南側からの緊急車輛進入路必要

毎年、県営名古屋空港では航空機事故の発生に対する消化救難訓練が行われています。昨年10月27日に、県や周辺3市1町・自衛隊・警察をはじめ、消防機関・医療機関・航空会社・関連企業などが参加し行われました。

この訓練は、搭乗者を救助するため最大支援体制を確保するために、空港内外の関係機関が相互に連携し、消化活動や人命救助及び医療救護活動など、不測の事態に備えるものです。そして、緊急車輛の進入路は、飛行場緊急計画では管制塔南の第2西門、航空自衛隊小牧基地の正門、空港北側門となっていました。18年前の中華航空機墜落事故では周辺道路は大渋滞し、空港南側の県道沿いの門からも緊急車輛が進入して現場に急行

した経過があります。しかし、この門があった用地は現在、民間に売却されていることから、速やかに事故対応が出来るように、空港南側からの緊急車輛の進入など、航空機事故の対策強化について質しました。

地域振興部の航空対策課は、中華航空機事故の際には緊急車輛が空港南側の門を使用して現場対応を行った経過に触れ、航空機事故の際には救助や消化活動など迅速に行うことが第一であり、渋滞など空港周辺の道路状況も考慮し、県営空港南側の管理地内に緊急車輛の進入門を検討する考えを明らかにしました。



空港南側の箇所に緊急車輛の進入路を検討

民主党議員の一般質問

- ◆三河湾の浄化と干潟再生について  
かしわぐま光代議員 (豊橋市選出)
- ◆大規模団地の再生支援について  
日比たけまさ議員 (春日井市選出)
- ◆若者就職支援と  
県の有料道路民営化について  
河合洋介議員 (知多郡第1選出)
- ◆原発に頼らぬエネルギー政策  
天野まさき議員 (小牧市選出)
- ◆知事の政治姿勢と県政運営について  
黒川節男議員 (海部郡選出)

●詳しくは愛知県議会ホームページ  
[www.pref.aichi.jp/gikai/](http://www.pref.aichi.jp/gikai/)

■民主党代表質問から

中村友美 団長 (2月28日日本会議)

県の経済・財政再建に向けて

Q 知事は「国からの完全独立」と言うが、県債残高は5兆円、基金は枯渇という厳しい県財政の現実をどうするか。

知事 地域経済の立て直しにより県税収入の回復を図る。国に対しては、地方法人特別税の還元はじめ、国からの税源移譲、課税自主権の強化を求めていく。

Q 産業界空洞化対策や次世代成長産業の育成にどう取り組むのか。

知事 産業界空洞化対策減税基金を活用し、先端産業界や中小企業の立地補助制度を設けて支援していく。また、国際総合戦略特区を活かし、航空宇宙産業をこの地域の次世代主力産業に育てるべく具体策を立案する。

東日本大震災を受けて

Q 基幹的広域防災拠点整備をどう進めるのか。

知事 分散ネットワーク型で候補地の検討を進め、国に要望していく。

Q 災害時の帰宅困難者に対する検討状況は。

知事 伝言ダイヤルの活用や交通情報等の提供体制を整え、一時的な待機施設や帰宅抑制、食糧備蓄など企業に協力と協議をしている。